2017
西南神学生だより

新年度が始まり、新たな仲間と共に新しい歩みがスタートしました。私たちを学び舎に送り出してくださり、また祈りや様々な支援でもって支えてくださっている全国の教会・伝道所の皆様には、心から感謝申しあげます。今年度の西南学院大学神学部・大学院神学研究科の神学生を紹介します。私たちのことを少しでも身近に感じていただければと思います。

2017 年度西南学院大学神学部学生会

夏期・春期神学生研修受け入れのお願い

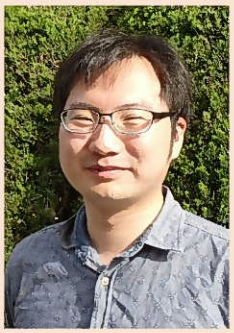
全国の教会・伝道所の皆様、いつも祈り支えていただきありがとうございます。
私たちは、皆様との交わりや実践を通して学びを深めたいと願っております。夏季休暇などの長期休暇を利用して、皆様のもとでご奉仕できたらと思います。是非お声かけください。
なお派遣できる学生数が限られているため、ご要望に添えない場合がありますことをご了承ください。

【学生休暇期間】　夏季休暇　8/9(水)～9/14(木)　　応募締切：7/10
　　春季休暇　2/2(金)～3/30(金)　　応募締切：1/10
＊休暇中においても集中講義などがあり、神学生のスケジュールの調整ができない場合があります。

【申込み先】〒814-0015　福岡市早良区室見2-11-26
　　西南学院大学神学部寮気付　対外委員会　担当：平野 健治
　　E-Mail：swtaigai@yahoo.co.jp

【連絡事項】①教会名　②担当者名　③希望日程　④希望人数　⑤奉仕内容
　　⑥交通費等の支援　⑦連絡先(電話、メールアドレスなど)

～ 新 入 生 ～



神学部３年　高橋 周也（たかはし　ひろや）
推薦教会：花小金井キリスト教会
研修教会：日本バプテスト福岡城西キリスト教会

少年に差し出された５つのパンと２匹の魚を、主はどんな思いで受け取られたことでしょう。弟子は「何の役にも立たないでしょう」と言いました。私はこのパンと魚です。弟子と一緒に、何度そう祈ったことでしょう。

かつて生きることを諦めかけた私に、主は「光の中を歩みなさい」(Ⅰペテロ 2:9)と語り、救い出してくださいました。それを今度は、私が宣べ伝えるようにと言うのです。この私を受け取り、祈りつつ裂いてくださるのは、主。その主と共に、お支えくださる皆様に感謝します。今、ただただこの主と教会の業に励まされて歩み出します。

神学部３年　西本 詩生（にしもと　しなる）
推薦教会：恵泉バプテスト教会　　研修教会：姪浜バプテスト教会

多くの祈りに支えられ、神学生として新しい歩みを始めた西本詩生と申します。

先日、ひとつの気づきが与えられました。新しい生活を始めるために家電を購入したのですが、はじめはインターネットでの購入を検討していました。インターネットを使えば、便利で安く済みますが、同時に人と接する機会を奪う手段であると気づかされました。他者との関係性が薄れてしまう流れにある時代であることを実感します。

それゆえに、主にある交わりを願い求める群れである教会に希望を抱いています。神学に専念できる時が与えられていることを心から感謝し、この時代に生かされる学びに励んでいきたいと思います。

特別研修生　諸岡 寛　（もろおか　ひろし）
推薦教会：平尾バプテスト教会　　研修教会：平尾バプテスト教会

この春、九州バプテスト神学校牧師コースを無事卒業しました。さらに４月からは母校の西南学院で、神学部特別研修生として１年学ぶ機会が与えられ、皆さまのお祈りとお支えを心より感謝します。神学部チャペルが行われている赤煉瓦講堂はかつて中高の講堂でしたので、今でもドージャー先生の遺訓　「西南よ基督に忠実なれ」　の額があったことを懐かしく思い起こしています。「日本の精神風土にキリスト教を根付かせたい。」と強く願っています。どうか「日本をキリストへ」導く働き人として立つことが出来ます様に、更なるお祈りとお支えを願います。

～ 在 校 生 ～

大学院博士後期課程３年　城 俊幸（たち　としゆき）
西戸崎キリスト教会　牧師

西戸崎教会との不思議な縁はすでに６年。牧会は１４年。その間、礼拝改革、賛美改革、研修神学生２名、転入会３名、バプテスマ４名、*1100*万のホール（納骨室）建築完成。須藤伊知郎先生の指導で、博士論文「パウロの聖書引用／第二神殿時代のユダヤ教の影響」を執筆中。昨年は「シラ書における知恵と律法の関係」、「Ⅱコリント *3:16* モーセの顔の覆いの意味」を発表。今年は「パウロにおけるシオン巡礼」「パウロとラビ的解釈」を発表予定。学びの時が与えられ、主に感謝。
tachi757@gmail.com

大学院博士前期課程１年　永山 辰原　（ながやま　ときはら）
推薦教会：福岡西部バプテスト教会　　研修教会：鳥栖キリスト教会

いつもお祈りとご支援ありがとうございます。本年度より大学院に進学いたしました。学部では聖書学で論文を書き、いわば、聖書の御言葉に関する考察を行いました。修士では、学部で培った聖書学の知識をベースに、キリスト教倫理について研究を行う予定です。具体的にはバプテストの神学を倫理の側面から考えてみたいと思います。鳥栖キリスト教会では、その実践的領域・現場として学ばせていただければと思います。引き続きのお祈りとご支援よろしくお願い致します。

大学院博士前期課程１年　平野 健治　（ひらの　けんじ）
推薦教会：大井バプテスト教会　　研修教会：姪浜バプテスト教会

神学校 2 年目は教会やキリスト者がどのように他者と、また社会と関わるのか、その姿を見せられる１年でした。鳥栖教会での研修、ルワンダへの訪問、友人の死、２人目の子どもの誕生がそれを教えてくれました。教えられたのは他者の苦しみや葛藤や願いをよく知ることが、連帯と祈りと行動にとって不可欠であるということです。2 年間の学びを経て、語りたい事が増えてきました。でも私はまず「聞く」、神に聞く、他者に聞く、そのことができる牧師になりたいと思っています。今年も新しい出会いに期待しています。

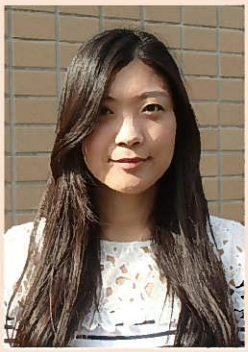
神学部４年　川久保 拓也（かわくぼ　たくや）
推薦教会：ふじみ野バプテスト教会　　研修教会：早良キリスト教会

神学部での学びも 2 年目を迎えました。1 年目の歩みを振り返ってみると、新しい環境に適応しつつ、目の前のことを必死にこなしていくような 1 年間でした。そしてそんな中で起こる出来事、出会いを通して、主が私を創り変えてくださっていることに気付かされる時でもありました。今年は学部最終学年でもあり、大学院試験、卒業論文に取り組んでいきます。論文はキリスト教倫理を大枠として、近年、急速に発展する遺伝子工学における生命倫理がテーマです。神の希望とキリストの要求に適った者とされていくようにお祈りください。

神学部 4 年　杉本 拓哉（すぎもと　たくや）
推薦教会：宇都宮キリスト教会　　研修教会：日本バプテスト福岡基督教会

皆様のお祈りとご支援を心から感謝いたします。神学部一年目の学びは、「弱さの中に働かれる主」を見つめることでした。祖父と母を立て続けに亡くし、後悔と自責の念に囚われる日々を過ごしました。しかし、その中においても御言葉は先立ち、語られました。また、たくさんの方々の祈りによって支えられたことを実感しています。

学業の面では、一年目は新約学を中心に基礎的な科目を受講しました。二年目は特に旧約学に力を入れて学びたいと思います。卒論は日原先生のご指導のもと、第二イザヤにおける贖いをテーマに取り組みます。栄光在主。



神学部４年　黄 善楨（ふぁん　そんぢょん）
推薦教会：福岡磐石教会　　研修教会：福岡磐石教会

主の御名を讃美いたします。
昨年は、主が同期や先輩方、先生方や、諸教会の皆様との出会いを祝福して下さり、神学的、信仰的、霊的学びが豊かに出来た年でした。今年は松見俊先生のご指導の下、イスラエルと教会について卒業論文を執筆します。聖書と歴史、組織神学、そして現代における聖書預言の実現の観点から考察し、現代の教会が主の御前にいかに在るべきかを探ります。

「エルサレムのために平安を祈れ、『エルサレムを愛する者は栄え、その城壁のうちに平安があり、もろもろの殿のうちに安全があるように』と」（詩篇 122 篇 6、7 節）

神学部４年　JANAK KANADEL（じゃなく かんでる）
推薦教会：福岡新生キリスト教会　　研修教会：福岡新生キリスト教会

神学生として、福岡新生キリスト教会から送り出されました、マタイによる福音書 28：19『だから、あなたがたは行ってすべての民を私の弟子としなさい。彼らに父御子と聖霊の名によってバプテスマを授けなさい。』イエス様の大宣教命令を心に持って、全てにおいて主に支えられていることを心から感謝いたします。そして全国の諸教会の皆様の献金と祈りに心から感謝します。これからの学びも主にあってしっかりと神学を学び、神様の弟子、小さき者として歩みたいです。

神学部３年　小櫻 信（こざくら　まこと）
推薦教会：日本バプテスト大阪教会　　研修教会：西南学院バプテスト教会

主の御名を賛美致します。いつも祈りに覚えられているということを感じつつ、神学部での学びが許されている事を心から感謝致します。昨年度は多くの方との関わりの中に学ばされる事が沢山ありました。特に、東日本大震災や熊本地震の被災地の方々との交わりの中に気付かされる事がありました。また、海外ボランティアで訪れたフィリピンの方々と交わり、貧しいとはどういうことなのか？考えさせられました。人間関係の中で大切な事を見失わぬように歩む者でありたいです。
「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」（ローマ 12：15）

神学部２年　安里 道直（あさと　みちなお）
推薦教会：東風平バプテスト教会　　研修教会：バプテスト東福岡教会

昨年度を一言で表現するなら、「出会い」です。人と会う全てが私にとって新しい出会いで、その出会い全てが、一つ残らずかけがえのないものでした。その中で感じたことは、新しい出会いが私を成長させ、それと同じように、出会った相手の人にも、なにか小さな変化が生まれるということです。神様は人を通して御業を行います。出会いはまさに、神の御業です。教会で会った人も、キャンプで会った子も、授業で会った他学部生も、次はいつ会えるか分からない人や、もう会えなくなってしまった人も皆、神様からのおくりものです。

選科２年　原田 賢（はらだ　けん）
推薦教会：大宮バプテスト教会　　研修教会：日本バプテスト春日原キリスト教会

主の御名を賛美します。全国諸教会のご支援とお祈りの中、また何より主の導きによって 2 年目の学びに入ることが出来ました。昨年よりもっと貪欲に学びを深めたいです。特に今年からは「教会とは何か？」ということを自分のテーマに据えて学んでいきたいと思っています。考えれば考えるほど深いテーマです。簡単に分かった気にならないように自分を戒めつつ、主と共に歩んでいきたいと思います。

～ 卒 業 予 定 者 ～

大学院博士前期課程２年　福久 織江（ふくひさ　おりえ）
出身教会：函館キリスト教会　　研修教会：福岡有田バプテスト教会

昨年度後期を休学し母の介護と看取りにあたっておりましたが、多くの方々のお祈りに支えられ、母は受洗の喜びと赦しを抱きしめ安らかに御許に帰り、そして私は今春より復学致しました。お祈り下さった皆様に改めて御礼申し上げたいと存じます。

今私は、コヘレトの言葉に心惹かれています。というのも、母がホスピスに入ってから、なぜかコヘレトの言葉が頻繁に私の頭をよぎっていたからです。 空の空、すべては空しい。すべては風を追うようなものだ‥でも横たわる母の姿に、私は空しさを微塵も感じなかったのです。最近やっと少し分かってきました。虚無から逃げず虚無を受け入れるからこそ、自分が何者でもないことを認めるからこそ、唯一良きものを下さる主を見上げていくことが出来る、有限なる自分を支えて下さる永遠なる主がいて下さることに目が開けていく‥そしてそこに平安があるのだと。そして自分自身が主に憩うことを無しに、主の愛と赦しと希望を伝えることは出来ないことも示されております。

最終年度は神学的思考の訓練のみならず、行い・心のあり方・日々の生活の全てが主に向って統合されていくようにと目標を設定しつつも、反省ばかりしている毎日です。残された西南での学びの為に、教会に仕える道が開けていきますように、お祈りに覚えていただければ幸いです。

大学院博士前期課程２年　三上 充　（みかみ　まこと）
推薦教会：金沢キリスト教会　　研修教会：日本バプテスト高須キリスト教会

いよいよ神学部で学ぶ最後の一年となりました。この一年の抱負は、とにかく修士論文をきちんと仕上げて提出することです。修士論文では、「生態系保全に関する様々な取り組みに教会（あるいは神学）がどのように連帯できるのか」というテーマを論じていくつもりです。思えば 10 年前、私が最初の大学で書いた卒業論文は、気候変動枠組み条約をテーマとしたものでした。10 年前の卒業論文と重なり合うテーマを今回与えられたことに、神様の導きを感じます。また研修教会では、教会のホームページ作成に向けて取り組んでいくつもりです。研修教会がある地域は、近年、住宅が急速に増えつつあります。そのような場所に立たされている教会だからこそ、他の教会・伝道所以上に新来者のことを第一に考えたホームページが必要であると思わされています。教会に連なる方々と知恵を出し合いながら、計画を進めていきたいです。家庭においては、妻の収入に支えられつつ私が学ぶという体制も四年目に入ります。妻への感謝を忘れず、料理のレパートリーをさらに増やしていきたいです。特に、ヘルシーで安い料理のレパートリーを増やしていきたいです。最後の一年、主にさらに期待しています。

大学院博士前期課程２年　元川 信治　（もとかわ　しんじ）
推薦教会：調布バプテスト教会　　研修教会：福岡西部バプテスト教会

特別な余暇(スコレー)を与えられて４年目を迎えました。日本バプテスト連盟に加盟している諸教会の兄弟姉妹たちの協力伝道の祈りと思いに支えられて、今があります。ありがとうございます。昨今、個人の尊厳が脅かされていると感じられる出来事が続いているように見受けられます。そして、だからこそイエス・キリストの福音に生きるという教会の務め、その内実が問われているのでしょう。この大きな課題に、少なからず時間があるからこそ、しっかりと向き合う１年でありたいと願っています。前年度、少なからぬ友が巣立ってしまい、神学寮の空き部屋が増えつつあります。神さまは、あなたを神学の学びへと招いておられませんか。

神学専攻科　伊藤 真嗣　（いとう　まさつぐ）
推薦教会：日本バプテスト相模中央キリスト教会
研修教会：長住バプテスト教会

2017 年度、専攻科での学びが開かれたことを感謝すると同時に、いよいよ本格的に牧会現場へ旅立つ準備が始まろうとしていることを実感します。

私はかつて福祉の分野で働いていましたので、社会や教会の中で実際に悩む人と、いかに共に歩んでいけるかということを考え続けてきました。卒業論文のテーマも「障がい者と教会―解放の神学の視点から」として、この一年、しっかりと研究したいと思います。

「すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、『道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか』と語り合った。」（ルカ 24:31, 32）

エマオ途上での出来事ですが、このように私たちも信仰の心が燃えている時よりも、むしろ神さまが分からず、もがき苦しみ、自分の弱さが分かった瞬間にこそ目が開け、イエスの存在の力に気付くのではないでしょうか。信仰とは神さまとの関係性の中での「気づきの出来事」です。復活の主と出会うということは、人をここまで変えるものであり、このことを本気で伝えるのが牧師の使命だと思うのです。それは相当大変なことであり、覚悟が必要でしょう。

牧会者は常に羊に寄り添い歩んでいきます。エマオ途上で、主自ら私たちの方に近づいて来られたように、これから牧会の現場において、私も隣人に歩み寄り、共に生きていく道を進みたいと思うのです。

神学専攻科　遠藤 光子　（えんどう　みつこ）
推薦教会：別府国際バプテスト教会　　研修教会：鳥飼バプテスト教会

「牧師の仕事は大変だ。」月並みな言葉かもしれませんが、神学校や研修先の教会で牧師の働きについての学びを深めていく度、益々そう思うようになりました。これが他人事でなく自分の事になっていく…そう考えるだけで武者震いします。最終学年としての緊張や、卒業までの限られた時間の中で、本当に自分は神に用いられる器として整えられ得るのかという不安、もっと神学校で学びたいという思いと早く卒業して現場で神と人とに仕えたいという思い、色々な思いが入り混じっています。

自分が牧師として立たされた時は、礼拝を何より大切にしたい、特に説教を大切にしたいと思います。子どもや求道者、信仰を持って間もない方が聴いても、信仰歴の長い方が聴いても分かりやすく、しかし霊的に深く魂に響く聖書のメッセージを伝えていきたいと祈っています。また私自身も父・子・聖霊なる三位一体の神の臨在を肌に感じて、喜んで礼拝をささげる礼拝共同体の１人でありたいです。

いつも祈り支え、愛して下さりありがとうございます。私も祈りとみ言葉に立ち、福音を宣べ伝える者として教会につながる一人ひとりの魂に寄り添って参りたいと思います。

選科３年　加山 献　（かやま　ささぐ）
推薦教会：新潟主の港キリスト教会　　研修教会：早良キリスト教会

主の御名を賛美いたします。いつもわたしたちのために祈ってくださり、心より感謝申し上げます。主の恵みに支えられ、最終学年の年度を迎えました。全国諸教会の皆さまからの励ましと多くの献金の故に、これまでほんとうに良い学びの時が与えられました。西南では多岐に亘るジャンルの学びがありました。また、研修教会での学びに加え、夏季研修や神学校週間での奉仕の機会もありました。ひとつひとつの神学校での経験を振り返ってみると、すべてが自分自身にとって必要不可欠な事柄でした。人に与えられた理性と持ちうる限りの知識をもって、聖書の御言葉に耳を傾けることの重要性を知り、また、御言葉を通して語ってくださる主の聖霊の前に自分自身を低くしつづけなければならないことも知りました。正直なところ、まだまだ学びが足りない者であることを告白せざるを得ません。神学校を卒業した後も、神学を学び続けていきたいと思います。

今年は１７世紀のイギリスにおけるバプテスト史をテーマに論文に取り組んでいきます。この研究を通して、特に礼拝論の視点から、教会への理解を益々深めて生きたいと思います。御加祷いただければ幸いです。

2017 西南神学生だより

発行日	2017 年 5 月 20 日	編　集	神学部学生会対外委員会
発行者	西南学院大学神学部学生会	E-Mail	swtaigai@yahoo.co.jp